

グループホームアテナ、外部評価で頂いたご意見

項目 5

- ・スタッフ会議録などからきちんと取り組んでいると存じます。
- ・身体拘束に該当してしまう行為について、スタッフ会議で共有している経過は確認できたが評価項目である介護保険法指定基準の内容や身体拘束をせずにケアを行う具体的な取り組みが資料から確認できなかった。

項目 6

- ・勉強会などを通じてきちんと取り組んでおられると思います。試験なども行って理解を深めていると思いました。
- ・虐待に関する職員研修を開催している事は確認できたが、例えば、高齢者虐待を発見した際の対応方法など、表項目にある高齢者虐待防止法に基づく対応を学ぶための研修内容としては不十分であること、また、虐待を見過ごさないための取組や発生を未然に防ぐための取組について、具体的な実践内容が資料から確認できませんでした。

項目 9

- ・アンケートを家族へ実施して、その結果をまとめたものを職員間で共有して家族へフィードバックしていると思います。
- ・家族満足度調査を実施し、当該調査で得られた意見に対する回答を公表している事は望ましい取り組みだと思います。当該調査で得られた意見に対して、具体的にどのような改善を図ったのが資料から確認できませんでした。

項目 1 1

- ・職員人事考課を通じて、代表者と職員の間でコミュニケーションがきちんとできていると思いました。
- ・人事考課で、考課者からのアドバイスやコメントをフィードバックすることは、職員のやりがいや向上心を持って働くことにつながる取り組みだと思います。評価項目に例示されている職場環境・条件の整備について、資料から確認することができませんでした。

項目 1 2

- ・特に新人職員の方への力量チェックリストを通じて職員の能力育成に心掛けている事が感じられます。
- ・職員を対象とした研修会が充実しており、職員の資質向上に資する運営体制が整備されていると思います。しかしながら、提出いただいた資料が新人を対象としたものであること、および内容が勤務態度が中心であることから、評価項目にある職員のケアの実際と力量を

把握するための取組について十分に確認する事が出来ませんでした。

項目 1 7

・アセスメント表や課題分析表などを通じて本人の状況をきちんと把握され、それに基づいた計画を立てていると思いました。

・本人がより良く暮らす上での課題についての分析結果や、当該課題を解決するための必要なケアのあり方について、本人、家族及び関係者と話し合った経過が、提出いただいたサービス担当者会議記録などの資料から確認できなかった。

項目 1 8

・毎月送られてくる担当者からの連絡、報告のお手紙により、本人の状況をきちんと把握してご報告されていると思いました。

・提出いただいた施設サービス評価表からは、本人の身体状況や精神状況に応じて支援方法を工夫している経過が確認できましたが、介護記録の内容からは詳細な状況が確認できず、評価項目とされている職員間で情報を共有するための記録の整備や介護計画の見直しについては、具体的な取り組みが確認できなかった。

項目 2 2

・入院時におけるその時々状況をきちんと把握されて記述しておりました。又その情報を職員間でも共有されていると思いました。

・提出いただいた資料から、入院中の医療機関からの情報提供を受けていることは確認できましたが、利用者が早期に退院するための情報交換や相談について、具体的に貴事業所が取り組んでいることが確認できなかった。また、医療機関との関係づくりをどのように行っているかについても確認が出来ませんでした。

項目 2 3

・重度化した場合における看取りの指針が文書としてきちんと準備されており、万が一の場合にその指針に応じて職員の方々が行動されるものと存じます。

・事業所が定める指針を契約時に説明しているとのことですが、評価項目に記載されているとおり、対象者の個別性に応じて、一方的な説明だけでなく、話し合いを行う必要があると思いますが、その事について日頃から実践している具体的な取り組みが確認できませんでした。また、重度化した対象者や終末期の対象者に対して地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいることが確認できませんでした。

項目 2 5

・避難訓練を定期的に行っている様で安心できます。きちんと企画書に基づいて実施されているものと存じます。

・避難訓練については、企画書を作成し、訓練の振り返りを行っていることが確認できましたが、避難訓練に地域住民の方が参加されておらず、評価項目とされている地域との協力体制の構築について具体的な状況を確認することができませんでした。今後は、地域住民との連携(避難訓練への参加など)も積極的に行って頂きたいと思います。

項目 2 6

・職員の皆さんが接遇などについての勉強会を定期的に行っている様で、その能力向上を心がけていると感じました。

・施設内で接遇委員会のメンバーを配置している事や、職員を対象とした接遇マナー研修を開催していることなどから、一般的な接遇の能力向上を目的とした取組は充実していると思いますが、評価項目とされている一人ひとりの人格を尊重する事及び誇りを損ねない対応について、グループホームであることを踏まえた取組が十分に確認する事が出来ませんでした。

項目 2 8

・普段の食事と共に定期的に食に関係した行事、イベント等も計画、実施をして頂き、利用者皆さんが食を楽しまれていると思いました。

・項目 1 7 で提出いただいた施設サービス計画からは、一部の利用者に食事の片付けへの参加を促していることが確認できましたが、評価項目とされている利用者全体が食事を楽しめるよう、希望を聴取することや役割分担を行い、食事の準備や後片付けに参加する取組など、具体的な実践内容が確認できませんでした。

項目 3 0

・食を楽しむ為にも口腔ケアはとても大事な事と思われますがそのマネジメント計画書に基づいて実施している事が分かりました。

・令和 5 年度の取組が確認できませんでした。提出いただいた資料を踏まえても評価項目とされている一人ひとりの口腔状態に適した口腔ケアの実施に繋げるための取組としては十分ではないと思います。

項目 3 1

・生活リズムシートをもとに排泄について本人の自立を促しながらも必要な支援をきちんとされていると思いました。

・提出いただいた資料では排泄パターンの把握状況や一人ひとりの排泄自立に向けた支援

状況が確認できませんでした。

項目 3 4

・服薬については間違いのないように支援する事が大事だと思われませんが、万が一何か間違いがあった場合でもすぐに家族にその事実を隠さず知らせて頂き、その後の本人の様子をきちんと見守って頂いており、感謝しております。

・1人1人の服薬内容については、確認しやすい体制を整えているとの事ですが、提出いただいた資料では、評価項目とされている服薬の支援と症状の変化の確認にどのように努めているのが確認できませんでした。

項目 3 9

・いつも訪問する度に季節感を取り入れたお部屋造りをして頂いており、工夫されている事を感じました。認知症の場合、季節感が無くなることがよくありますが、少しでもその手助けになればとてもありがたい事です。

・提出いただいた資料では、1人ひとりの心身機能に合わせた環境整備や、外的刺激及び日時の見当識に配慮した環境整備をどのように行っているかが確認できませんでした。

項目 4 2

・アセスメント表の生活歴や趣味などを職員の皆さんで情報共有する事で、本人らしい暮らし、生活が出来るものと存じます。

・提出いただいた資料から、アセスメントの実施内容は確認できましたが、そのアセスメントを基に一人ひとりの状態に応じた支援をどのように提供しているかが確認できませんでした。

項目 4 4

・自室の写真などから、本人らしい生活が続けられるようにお気に入りのものを置いている様子が伺われて、施設の方でもきちんと取り組まれていると思いました。

・環境が変わっても、馴染みのものが近くにあると安心する方もいると思いますので、今後も継続していただくと良いと思います。

項目 4 7

・毎月送られてくるアテナ通信によって、本人の施設内での様子がよく分かり、日々充実した生活を過ごしている事が感じられます。

・季節ごとにイベントを企画するなどして、生きがいを持ち、活動的に過ごすための支援を行えていると思いますので、今後も継続していただくとよいと思います。

項目 4 9

- ・職員の皆様のサポートにより本人が、このグループホームで生活する事に満足してくれるように願っております。
- ・外部評価をするには知らない事が多いのですが資料を見て判断(オールA)しました。
- ・季節ごとにイベントを企画するなどして、職員との交流を図れていると思いますが、評価項目とされている安心の日々を送るということや地域の人々とのつながりを持つことについては、取り組み状況が確認できませんでした。